

報道資料

「捨てる」にフォーカスしない片づけ方
ライフスタイルに合った使いやすさ、多様な働き方も可能に
可能性が広がる整理収納を

整理収納アドバイザー認定資格を発行しているハウスキーピング協会（協会本部：東京都渋谷区、代表：澤一良）は、全国でお片付けに関する様々な活動を展開しています。最近、防災関連のセミナー開催が増えています。防災関連セミナーを多く開催する整理収納アドバイザーにインタビューを行いました。

■アドバイザーとして伝えたいことは何でしょうか？

「捨てられないから片付かない」ではありません。無理やり捨てようとするから、片づけたくなくなるのです。

『整理収納』とは“必要なモノを使いやすく収納する”こと。そのために不必要なモノを取り除く、というシンプルな考え方です。片付かない最大の理由は、『使っているモノ』と『使っていないモノ』が混在しているから。まずそこに気づくことが、整理収納の第一歩です。

また、防災備蓄で大切なのは、自分の命を守る、ということ。その観点からも整理収納は不可欠です。日常にも非日常にも役立つ整理収納の力を、一人でも多くの方にお伝えできればと思います。



■整理収納アドバイザーの仕事はどのようなものですか？

現在、講師7割、お宅訪問（お片付け作業、収納プランニング）3割、自宅セミナーなども行っています。講師活動では、協会認定講座の定期開催に加え、公的機関や企業様からのセミナーのご依頼も増えてきました。「整理収納から始める防災備蓄」「整理収納のできる防災習慣」など、整理収納と防災備蓄を関連付けた講座が人気です。

■この仕事に就いたきっかけ、魅力はどのようなものですか？

前職は、スマートフォンアプリのUI (User Interface、ユーザーインターフェース)デザイナーでした。UIデザインとは、機器とユーザーの関係性をデザインすることです。すなわちUIデザイナーの仕事は、「どうデザインしたらユーザーがその機器をスムーズに使えるか」を考えること。例えばカメラアプリ

のシャッターボタンはどこに置いたら、どんな形状なら、どんな切り替えなら考えずに使えるか、を考える。そんな UI デザインの考え方は「何をどこに配置すれば使いやすいか」「どんな収納を使うと取り出しやすいか」を考える整理収納の考え方と通ずるものがあり、それがより深く整理収納を学んでみたいと思うきっかけとなりました。

整理収納は、理論として確立された考え方をベースに“それぞれのライフスタイルに合った使いやすさ”を実現できるところが最大の魅力です。受講生の皆さんやご依頼いただいた方に、「生活が快適になる」「前向きな人生を送れる」「自分の世界が広がる」といった感覚を体感していただくことは、この仕事の何よりの醍醐味ではないでしょうか。

■この仕事を通じて、女性の働き方やパラレルキャリア※という考え方についてどうお考えですか？

アドバイザーとしての活動開始とほぼ同時に、ずっとやりたかったフリーライターとしても活動を始めました。どちらも立場は異なりますが「人」に会う仕事。様々な人にお会いして刺激を受けることで、コミュニケーション力のアップに加えてライターの仕事が整理収納に役立つ情報につながったり、逆に整理収納に絡めたライティングの依頼をいただいたりと、アドバイザーとライターそれぞれの活動で起きる全てがそれぞれに生きています。

整理収納はずっと、家事のスキルだと考えられてきました。これまで家事を担うのは女性が一般的でしたが、若い世代は少しずつ変わってきています。そして今、整理収納は家事だけでなく、職場や思考や防災その他いろいろなところで活用されるようになりました。これからの整理収納は、男女関係なく生きるために必要なスキル。『整理収納』の可能性は、これからますます広がっていくにちがいありません。

※パラレルキャリア…本業以外の仕事を持つことや、非営利活動に参加すること。

インタビュー協力 整理収納アドバイザー 堀中里香さん

ハウスキーピング協会は、整理収納フェスティバルをはじめとしたイベント等のアドバイザーの活躍の場、およびコンペティションやアカデミアといった教育プログラム等のアドバイザーを育成する場を設けていきます。

一般社団法人ハウスキーピング協会 事務局 (浜谷)

〒151-0064 東京都渋谷区上原 3-5-2 TEL:03-3465-3210 (代表) / FAX:03-3465-3202

E-MAIL : main@housekeeping.or.jp 協会 HP : <https://housekeeping.or.jp/>